

科目名称：	造形教材研究 I	
担当者名：	森田 ゆかり、太田 望	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造形活動を通して自分自身の世界を広げ、自由に「表現」する楽しさを知る。</li> <li>・ 教材研究の面白さ・大切さを知る。</li> <li>・ 「声を出してこどもに絵本を読む」ことの意味、つくり手の心、こどもの心を学ぶ。</li> </ul>		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な素材・用具・技法を応用して使うことができる。</li> <li>・ 調べ学習や研究、制作に対して主体的・計画的に取り組むことができる。</li> <li>・ 日々の生活の中でも五感を磨き、豊かな感性や想像力を育てようとする。</li> <li>・ 「保育」の見方・考え方が広がり、造形活動の意義を理解できる。</li> </ul>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)			70	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容 1》 森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数 1》 2年6か月
	《内容 2》 森田 アートディレクター（こども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数 2》 4年10か月
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
教材研究への理解度	教材研究の目標を理解し、期待以上に応用して使うことができる。	教材研究の目標を理解し、応用して使うことができる。	様々な素材・用具・技法を使うことができる。	目標を理解していない。活動にあまり参加していない。
主体的・計画的取り組み（事前学修含む）	事前学修にも意欲的に取り組み、期待以上の主体的・計画的学修が見られる。	事前学修に取り組み、主体的・計画的学修が見られる。	ほぼ事前学修に組み、主体的・計画的学修に努めている。	事前学修をあまりしていない。主体的・計画的に取り組めない。
文書の分かりやすさ・見やすさ（ワークシート）	期待以上の文書が作成できる。	分かりやすくかつ見やすい文書を作成できる。	分かりやすい文書を作成できる。	分かりやすい文書を作成できない。量が少ない。
ディスコース（グループワーク・プロジェクト活動・プレゼンテーション）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 教材研究① 「探索」「探求」の視点から考える・糸でんわ（電子黒板使用）	「幼児と表現A」「保育内容・表現Aの指導法」の授業内容の復習。	30分
第2回 フィールドワーク① 絵本研究（小松市立空とこども絵本館）	小松市立空とこども絵本館および個々の交通手段について調べ学習。	20分
第3回 フィールドワーク① 絵本研究（小松市立空とこども絵本館）	小松市立空とこども絵本館および個々の交通手段について調べ学習。	20分
第4回 教材研究② 「探索」「探求」の視点から考える・スクラッチ	「保育内容・表現Aの指導法」第14回のワークシート及び資料を読んでおく。	20分
第5回 教材研究③ 「素材」「行為」からこどもの興味・関心を探る（プロジェクト活動）	どのような「素材」「行為」を研究したいか調べ学習し、書き出しておく。	60分
第6回 教材研究④ 「素材」「行為」からこどもの興味・関心を探る（プロジェクト活動）	どのような「素材」「行為」を研究したいか調べ学習し、書き出しておく。	60分
第7回 教材研究⑤ 「素材」「行為」からこどもの興味・関心を探る（プロジェクト活動）・まとめ	第5回、第6回の記録を整理しておく。	30分
第8回 教材研究⑥ 「素材」「行為」からこどもの興味・関心を探る（プロジェクト活動）・プレゼンテーション	第7回のまとめを発表できるようにしておく。	30分
第9回 教材研究⑦ 指導案を考えるための試作・見本作成（グループワーク）	何をどのように試行・試作するのかを各自考えておく。	20分
第10回 教材研究⑧ 指導案を考えるための試作・見本作成（グループワーク）	何をどのように試行・試作するのかを各自考えておく。	20分
第11回 「金城祭」のための教材研究（グループワーク / 電子黒板使用）	何をどのように試行・試作するのかを各自考えておく。	30分
第12回 他大学の学生と交流授業②（グループワーク / 電子黒板使用）	『実践のまとめ』バックナンバーを読んでおく。	20分
第13回 他大学の学生と交流授業②（グループワーク / 電子黒板使用）	『実践のまとめ』バックナンバーを読んでおく。	20分
第14回 他大学の学生と交流授業③（グループワーク / 電子黒板使用）	『実践のまとめ』バックナンバーを読んでおく。	20分
第15回 他大学の学生と交流授業③（グループワーク / 電子黒板使用）	『実践のまとめ』バックナンバーを読んでおく。	20分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
事前学修20%、プロジェクト活動のまとめ30%、授業への積極的関与30%、ワークシート20%（毎回配付されるワークシートを授業内で各自作成し提出）

#### 課題に対するフィードバック

「ドキュメンテーション」をもとに、グループで「ディスコース」（必要に応じて全体で「ディスコース」）し、次の活動を「デザイン」する授業を行っている（レジジョ・エミリアの「3つのD」 KINJO特化造形表現モデル）。

#### 教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第21号～第24号』 公益財団法人美育文化協会、  
参考書：『実践のまとめ』バックナンバー、必要に応じてプリント配付